



学校概要

○学校所在地

〒371-0844

群馬県前橋市古市町1-43-29

tel 0120-040066

ホームページ

<http://www.chuo.ac.jp/glc/index.html>

◆G L C教育システム

16年にわたって蓄積されたデータと指導ノウハウから、公務員試験、法律試験の傾向を分析。G L C独自の教育システムを導入しています。仮に勉強が苦手でも段階的に実力をつけられるカリキュラム、学習の進度に合わせた個別指導、「分からない」をなくす補講、実力を確認する毎週の模擬試験など、めざす試験の突破に必要な要素はすべて揃っています。専門学校だからできる効果的・効率的なシステムがあります。

●行政ビジネス学科

公務員Ⅲ種初級コース（1年・2年）

公務員Ⅰ種上級コース（15ヶ月）

警察官・消防士コース（1年・2年）

●法律ビジネス学科

行政法務コース（2年）



「公務員という職業から考えても、しっかりした日本語力をつけるなど資質を向上させるのは当然のことだと思います。」

岡村佳明 副校長先生

群馬県内最大の専門学校グループである有坂学園傘下の「群馬法科ビジネス専門学校」（前橋市）では、国・地方公務員試験合格のための専門教育の中で、社会人としての資質アップのために、日本語力向上を目指す教育にも力を入れています。その一環として、今年6月に行われた日本語検定に一部のクラスが団体受検しました。岡村佳明副校長に、その経緯などをうかがいました。

（インタビューは時事通信社記者 牧俊朗）

《カリキュラムの中で、日本語の活用能力を高めるための科目があるとうかがっていますが》

本校には現在、4つのコースからなる6クラスに高卒者を中心に約200人の学生が学び、毎年70%程度が国や地方の公務員に就職しています。この中の例えば「公務員Ⅲ種初級コース」には、英語や国語の文章読解力などを高める「文章理解基礎」という科目があり、言葉への理解を深めるためにさまざまな授業を行っています。

公務員という職業から考えても、しっかりした日本語力をつけるなど資質を向上させるのは当然のことだと思います。

《昨年は希望者を対象に、今年6月の日本語検定に団体受検をしたとうかがっていますが》

先ほどお話した「公務員Ⅲ種初級コース」は1年制と2年制のクラスがありますが、2年制クラスの1年の学生65人全員が今春、団体受検しました。最近の公務員試験では国語力をためず問題も多く、重要度は高いと考えています。

若者言葉やら抜き言葉については授業中にも指導していますが、日本語力というものは学習によってそう簡単に効果上がるものではありません。そこで、日本語検定を受検することを契機に、学生たちに言葉に関心を持ってもらうことを期待して受検しました。

出題に当たっては、日本語に関する知識も重要ですが、文章読解力を問うような問題がもっとあればいいと思っています。

《受検した学生の反応はいかがだったでしょうか》

日ごろ、言葉への関心が強い学生は合格しています。その一方で、受検への準備不足ということもあり、思ったような成績がとれなかった学生もいたようです。しかし受検を契機に、敬語や文法などの過去問を中心に教員に質問してくる学生が増えてきました。そう言う意味では、受検の目的だった学生の言葉への関心は高まってきたと言えると思います。来年も、団体受検を続けたいと考えています。

《社会では、最近の子どもたちの日本語力の低下について懸念する声がありますが》

読解力や語彙が不足していたり、敬語を知らないという言う以前に、言葉に対する関心がないと言えるのではないのでしょうか。流行語をすぐに使うという現象は、安易に人の言葉に頼るということであり、それは言葉への関心がなく、自分なりの言葉の世界を確立できていないからだと思います。

以上